

経済学部 アドミッション・ポリシー

■ 経済学部

経済学部では、基礎的知識の獲得と経済社会の変化に対応できる力の向上を目指した経済学教育を進めており、経済学科、経営情報学科、経済法学科の3つの学科を設置しています。どの学科も経済学を基盤に据えたカリキュラムの展開を行うことによって、見識豊かな産業人、公務員など多様な人材の育成を目指しています。それ故、知的好奇心が旺盛で、且つみずからの将来を主体的に切り拓いていこうという志を持った若者の入学を期待しています。

■ 経済学科

経済学科では、経済学的思考とグローバルな視座を身に付けることで教養と思考力を具えたジェネラリストたらしめる知的好奇心と、経済を通して広く社会全体を視野に入れて自らの将来像を思い描く意欲と、両方を持ち合わせる学生を求めている。経済学科での学びに対応するために、学びに対する基本的な姿勢と読解力をはじめとした基礎学力を身に付けてくることを入学者に求めている。

■ 経営情報学科

経営情報学科では、経営、情報、マーケティング、会計の専門的な知識や技能を駆使し、企業経営の様々な場面で自らのアイデアを具現化することで、豊かな社会の創造に寄与できる人物の育成を目標としており、カリキュラムでは「学科実践能力科目」を設置し、少人数のゼミナール形式や産学協働も含む実習形式の学習を多く取り入れる等、実践性の高い内容となっているため、高等学校卒業程度の情報や経済についての知識を有した以下のような人を求めている。

1. 広く国内外の企業経営に関連する情報に深い関心を持ち、そこで起きている問題や課題について、多面的かつ論理的思考ができる人。
2. 積極的に企業経営における課題解決のために行動し、多様な人々と協働しつつ、その課題解決に参加していきたいという積極的な思考を持っている人。
3. 企業経営上の課題解決のために必要な新しい技術やスキルに関心を持ち、その応用に興味のある人。
4. 上記1～3のような人物を社会に輩出すべく、子供たちの教育にたずさわる意欲のある人。

また、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

■ 経済法学科

経済法学科では、経済学と法律学のコアとなる知識とスキルを確かなものとし、それを基盤としたより高度な専門知識を身につけるとともに、経済や法律にかかわる幅広い経済・社会活動に不可欠な実践的な能力と職業上の倫理観を形成する。そのために経済法学科では、高校卒業程度の経済と法についての知識を有した次のような人を求める。

1. 人権と多様性を尊び、国の公共政策や地域の経済発展・まちづくりにかかわる意欲のある人（公共法政策コース）
2. 経済・金融・社会・財政問題などに関心があり、経済理論やデータを用いた分析を行ってみたい人（経済・金融コース）
3. 正義と価値の多様性に重きをおき、権利の実現・調整やリスクを管理する法システムに興味を持ち、法律にかかわる資格の取得や裁判その他の紛争解決の制度に関心のある人（法学&法務コース）
4. 地理・歴史、公民に興味があり、民主社会の将来の担い手である子どもたちの教育にたずさわりたい意欲のある人（教職）

また、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。